

## 注射のインフルエンザワクチンとフルミストのちがい

| 比べるポイント      | 注射のワクチン                            | フルミスト<br>鼻にスプレーするワクチン                   |
|--------------|------------------------------------|-----------------------------------------|
| ワクチンのタイプ     | 病原性のないワクチンです。                      | 弱めたウイルスを使ったワクチンです。                      |
| 接種のしかた       | 腕などに注射します。                         | 左右の鼻にスプレーします。                           |
| 対象年齢         | 生後6か月から接種できます。                     | 2歳から18歳までが対象です。                         |
| 回数           | 小さいお子さんは2回接種が必要なことがあります。           | 基本的に1シーズン1回です。                          |
| 痛み           | 注射なので、痛みを感じることがあります。               | 針を使わないので、注射の痛みはありません。                   |
| 期待できること      | インフルエンザの発症や重症化を防ぐ効果が期待されます。        | 鼻やのどでの感染を防ぐ働きも期待されます。                   |
| よくある副反応      | 注射した場所の痛み・腫れ、発熱、だるさなど。             | 鼻水、鼻づまり、咳、のどの違和感、発熱など。                  |
| 接種できないことがある方 | 多くの方が接種できますが、体調や持病によっては医師に相談が必要です。 | 妊娠中の方、免疫が弱い方、重い喘息がある方などは接種できないことがあります。  |
| まとめ          | 対象年齢が広く、これまで多く使われてきたワクチンです。        | 注射が苦手なお子さんには選びやすい方法ですが、接種できる年齢や条件があります。 |